

自然再生の目標について（案）

荒川太郎右衛門地区固有の指標種（上池：エキサイゼリ、中池：カワセミ・ハネナシアメンボ、下池：ミドリシジミ等）を保全し、かつ、それらが、生育・生息できる湿地環境を保全する。

現況の湿地環境を保全するための水確保に当たっては、荒川本川水、雨水、湧水等の自然な水を用い、開放水面を拡大するものとし、洪水にも強い河川整備とする。

また、過去に確認されている生態系を当地区に呼び戻し、豊かな生態系を育める湿地環境を再生する。

約70年前の蛇行形状が今なお変わらず存在する歴史的貴重な荒川旧流路の保全を行う。